

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 170

所管部局	福祉部	所管課	社会福祉課	担当者名	藤田 武久
事業名	災害見舞金事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	災害見舞金事業			政策体系	148
会計	一般会計	科目	3. 民生 - 1. 社会 - 1. 社会		

1. 事業の概要

市内において火災により住家に被害を被った市民に対し、予算の範囲内において見舞金、及び建築物の廃材等の残さいを処分する場合にはその処分費用の一部を補助する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

住居が不慮の火災により母屋が焼失または焼損した被災者に対して再建または修理等の支援を図るため、見舞金を支給する。
また、住宅等の火災により廃材処分を必要とする被災者に対して処分費用の一部を補助する。

② 事業を実施する必要性

被災者に対し、見舞金や補助金を支給することにより経済的支援を図ることができる。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	200	3,300	1,200	0	1,150	1,150	1,150
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	200	3,300	1,200	0	1,150	1,150
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.05	0.02			
人件費	千円	—	—	249	134			
事業費総額	千円	—	—	1,449	134			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

・ 火災見舞金（0件）
・ 住宅等火災に伴う廃材処分費補助金（0件）0千円

5. 事業結果の概要

本年度該当なし

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等	
(1) 支給事業			
この告示は、市内において火災により住家に被害を被った市民に対し、見舞金を支給する。	本年度なし	1 件	100, 000円
(2) 補助金			
住宅等火災に伴う廃材処分費補助金の交付	本年度なし	1 件	1, 000, 000円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

災害の状況把握と事業の迅速な対応に向け議論した。
被災者の生活再建を支援するため必要な事業である。
今後も継続して取り組む必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
事業の迅速な対応に向け議論した。
- ②当該事業のアピール事項
見舞金10万円の支給と、上限100万円の廃材処理費に対し補助する事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
被災者の生活再建を支援する事業として実施する。